



「講座"食べて治す,食べて防ぐために"」について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/2654

連載企画

「講座“食べて治す、食べて防ぐために”」について

我が国では、2000年から2010年を目指とした“21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）”が定められた。そこでは、“栄養・食生活”，“身体活動と運動”，“休養・こころの健康づくり”，“たばこ”，“アルコール”，“歯の健康”，“糖尿病”，“循環器病”，“がん”の9分野における基本方針、現状と目標、対策などが具体的に示され、それぞれの分野での目標達成に向けて、さまざまな活動が各地で推進されている。

大阪府立看護大学は医療系大学として、地域社会ならびに国際社会に貢献する医療専門職者（看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士）を育成するとともに，“健康日本21”的な施策を推進するために地域社会に対して保健・医療・福祉の向上を支援する役割を担っている。その一環として，“大阪府立看護大学公開講座”をはじめ地元羽曳野市が主催する“はびきの市民大学”には、毎年提携講座として本学教員の専門領域の情報を市民向けに分かりやすく提供している。

Journal of Rehabilitation and Health Sciencesでの本連載企画の目的は、本学教員の専門領域の情報を公開講座という場で発信するだけではなく、誌上に発表し記録するとともに、公開講座に参加されなかった方々にも提供し、大学の知的資産を広く公開することにある。今回、本学地域・国際交流委員会のご協力を得て、平成15年度大阪府立看護大学公開講座／はびきの市民大学講座“食べて治す、食べて防ぐために”（全12回）で講義した内容を中心に「講座」として第1巻から第2巻にかけて連載する。

（JRHS編集部）